

# 内閣府 沖縄総合事務局

## 農林水産部の紹介



令和7年4月

内閣府 沖縄総合事務局 農林水産部

# 目次

## 組織・業務内容

農林水産部のミッション	1
多彩な沖縄県の農林水産業	2
沖縄県経済と農林水産業・食品産業	4
国家公務員の仕事の内容(中央・地方)	7
農林水産部の組織	8
農林水産部の主な業務	9
農林水産部の取組	10
農林水産部が行う支援・整備等の取組事例	11
農林水産部が関与する沖縄県農林水産業の様々な取組	12
農林水産部の業務風景	14

農林水産部に配属された場合の勤務地	15
採用後のキャリアパス	16
人材育成	18
先輩職員にインタビュー！ 仕事の魅力とは？	20
行政区分採用の先輩職員からのメッセージ	21
ワークライフバランス	22
仕事と家庭の両立体験談	24
国家公務員一般職(大卒程度)の勤務条件	25
気になる疑問を深掘りします！	26
採用情報に関するご案内	27

## 働く環境・採用情報

## 沖縄の「食」と「環境」を未来に継承し、 沖縄の振興に寄与します

「食」は人々の生活を豊かにするとともに生命を支えています。

また、日本の食を支える農林水産業は、食料生産だけでなく、地域社会の維持・発展を担う重要な産業です。

沖縄総合事務局農林水産部は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承するという農林水産省の使命を、地域・現場レベルで遂行することで沖縄の農林水産業の振興、農山漁村の活性化に寄与すべく、業務に取り組んでいます。



# 多彩な沖縄県の農林水産業

## 沖縄の農林水産業の特徴

沖縄では、亜熱帯地域の温暖な気候と広大な海に囲まれた地理的特性を活かし、各地で多彩な農林漁業の生産活動が行われています。

夏期にはマンゴー等の熱帯果樹が出荷される一方、国内産が端境期となる冬春期にはいんげん、トマト、かぼちゃ等も出荷されており、一部地域では米の二期作も行われています。

台風の常襲など厳しい自然環境にありますが、特に離島や北部では、さとうきびをはじめ、果樹、畜産等の農林水産業が地域経済を支えています。



# 多彩な沖縄県の農林水産業

## 主な農林水産物

### さとうきび

県内約6割の農業  
経営体が栽培する  
沖縄の基幹作物  
(**全国1位**)



### ゴーヤー

冬春期は全国に供  
給される主力野菜  
(**全国1位**)



### マンゴー

近年増加している主  
力の果実  
(**全国1位**)



### パインアップル

収穫量は全国のほ  
ぼ100%を占める  
(**全国1位**)



### シークワサー

収穫量は全国のほ  
ぼ100%を占める  
(**全国1位**)



### キク

冬春期に全国へ供  
給する主力花き  
(**全国2位**)



### 豚

沖縄特産の豚(ア  
グー)を活用した肉  
豚等を生産



### 子牛(肉用牛)

年間通し豊かな牧  
草資源を活かした  
繁殖経営が主体



### もずく

養殖業により、収  
穫量は全国のほ  
ぼ100%を占める  
(**全国1位**)



### まぐろ

全国有数の漁獲量  
を誇る



## 沖縄県経済における農林水産業の位置づけ

- 沖縄県の経済全体における農林水産業（第1次産業）の割合は、就業者数、総生産額のいずれも全国平均を上回っています。

【全産業のうち、第1次産業が占める割合】

○就業人口 ➡ 沖縄：3.7%、全国3.0%

○総生産額 ➡ 沖縄：1.2%、全国1.0%



【参考：沖縄と全国就業者数(令和5年)及び総生産額(名目)(令和3年)】

	就業人口(万人)		総生産額(十億円)	
	全産業	第1次産業	全産業	第1次産業
沖縄	75.8	2.8 (3.7%)	4,374	49.9 (1.2%)
全国	6,747	199 (3.0%)	552,571	5,599 (1.0%)

資料：総務省「労働力調査」、  
沖縄県「労働力調査」、  
内閣府経済社会総合研究所  
「国民経済計算年報」、  
沖縄県「県民経済計算」

注：( )内は全体に占める割合



## 離島の地域経済における農林水産業の位置づけ

- 特に離島では、産業別就業者数や総生産額に占める農林水産業の割合が県平均と比べてもさらに高く、農林水産業が地域の経済の中で極めて重要な役割を果たしています。

【全産業のうち、第1次産業が占める割合】

○15歳以上の就業者数 ➡ 離島：14.5%、沖縄：3.9%

○総生産額 ➡ 離島：4.8%、沖縄：1.2%

【参考：離島の第1次産業就業者数(令和2年)及び総生産(令和2年度)】

	第1次産業就業者数 (15歳以上)(人)		総生産額 (百万円)	
	全産業	第1次産業	全産業	第1次産業
離島	57,700	8,384 (14.5%)	418,610	20,020 (4.8%)
沖縄	730,954	28,223 (3.9%)	4,260,875	49,790 (1.2%)

資料：沖縄県「国勢調査」、  
沖縄県「離島関係資料」

注1：離島は、沖縄本島以外の島であり、  
かつ沖縄本島と埋立、海中道路又は架橋  
により連結されていないものを指す。

注2：総生産額は、全部が離島の市町村のみを  
集計し、一部に離島を有する市町村は含  
まない。

注3：( )内は全体に占める割合

## 沖縄県経済における食品産業の位置づけ

- 食品産業についても、沖縄の製造業全体に占める食料品製造業の割合は、事業所数、従業者数、出荷額のいずれも全国平均を大きく上回ります。

【全製造業のうち、食料品製造業が占める割合】

○事業所数 ➡ 沖縄：30.3%、全国：11.1%

○従業者数 ➡ 沖縄：45.1%、全国：14.5%

○出荷額 ➡ 沖縄：38.9%、全国：8.8%

【参考：県内の食料品製造業の割合（沖縄）】

		事業所数 (カ所)	従業者数 (人)	出荷額 (億円)
全製造業		983	23,384	4,743
	食料品製造業	298	10,553	1,844
食料品製造業の割合		30.3%	45.1%	38.9%
(全国)食料品製造業の割合		11.1%	14.5%	8.8%

資料：経済産業省「2023年  
経済構造実態調査」

注1：従業者4人以上の  
事業所を対象

注2：事業所数、従業者数  
については令和5年  
6月1日現在、出荷  
額については令和4  
年1月～令和4年12  
月の実績



# 国家公務員の仕事の内容（中央・地方）

中央

## 政策の企画立案

- ・ 課題に対する政策手法（法令・事業）の検討
- ・ 法令作成・予算確保（予算要求）
- ・ 政府内・外部（関係者）との調整等（国会対応など）

地方

## ★沖縄総合事務局農林水産部が行う業務

## 政策の実行

- ・ 政策の現場への周知
- ・ 法令、事業等の執行（検査、補助金交付等）
- ・ 政策情報の収集
- ・ 現場の問題点の把握

指示・連携・報告  
フィードバック

# 農林水産部の組織

農林水産部は、沖縄総合事務局本局での各担当課、現地の出先機関からなっており、当局採用職員のほか、農林水産省等から出向している職員が勤務しています（定員：225名（令和7年4月））。

農林水産省及び内閣府（沖縄振興）が所掌する業務を現場段階で取り組んでいます。



農林水産部長

総務調整官

首席企画指導官

農政課

総合農政推進官

経営課

農村振興課

農村活性化推進室

生産振興課

畜産振興室

統計調査課

消費・安全課

食料産業課

林務水産課

部内の総合調整、企画立案、庶務、農協等検査、情報システム、農林水産施策全般にわたる相談、情報の受発信 等

農業経営体の育成、経営所得安定対策、新規就農、農地の集積（農地中間管理機構等）、農地転用規制、農協指導監督 等

農業農村整備事業（国営かんがい排水事業の調査・計画・実施など）、災害復旧、農村活性化政策の総合推進、多面的機能支払、中山間地域等直接支払、都市と農山漁村の交流促進、鳥獣被害防止対策、農林水産業の6次産業化、地産地消 等

農産物（さとうきび・野菜・果実・花き等）及び畜産物（肉用牛、豚等）の生産振興、環境保全型農業の推進、草地整備 等

全国統一基準で行う統計調査 等

食品の安全性向上の取組、食品表示及び米穀等トレーサビリティの監視、家畜防疫及び植物防疫の対策、消費者への情報提供 等

食品産業の振興、バイオマス利活用、食品産業における環境の保全、地理的表示保護制度の推進、輸出促進、食育 等

治山、森林整備、森林病虫害の防除、災害復旧、漁業取締り、水産基盤整備、水産の資源管理・回復 等

（出先機関） 農林水産センター（那覇、名護、宮古島、石垣）

土地改良総合事務所（本所、宮古支所）

農業水利事業所（宮古伊良部、石垣島）

## 【お問合せ先】

内閣府沖縄総合事務局

農林水産部農政課

Tel. 098-866-1627

<http://www.ogb.go.jp/nousui/index.html>

# 農林水産部の主な業務

主な業務	農林漁業者や食品事業者の取組支援	農地・農業水利施設、漁港等のインフラ整備	各種統計データの整備	食品表示適正化やトレーサビリティの確保	漁業取締りの実施
業務方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種補助事業等による必要経費の助成</li> <li>○法令に基づく計画認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国や県等が、公共事業として自ら整備（経費も行政機関が負担）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農政施策の企画立案やその実施に必要な統計データを自ら整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法令に基づき、食品の生産や流通に関わる事業者等を監視・指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法令に基づき、違法操業を取締り（拿捕等の司法警察権を有する）</li> </ul>
	<div>事業者支援 ←</div> <div>→ 指導・取締り（公権限の行使）</div>				
当局職員の 具体的な 業務内容  （担当課等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業者等の事業計画作成への助言・指導</li> <li>○補助事業等の申請内容審査、補助金の交付</li> <li>○補助事業等に必要な予算の本省との協議</li> <li>○担い手への農地利用集積</li> </ul> （食料産業課、生産振興課経営課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国営事業では、               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元説明・合意形成</li> <li>・整備・営農方向の調査</li> <li>・計画作成、設計、施工</li> <li>・事業効果の検証</li> </ul> </li> <li>○県・団体営事業では、               <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の審査、補助金の交付</li> </ul> </li> </ul> （農村振興課、生産振興課林務水産課各農業水利事業所 等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農林漁業者の経営収支等のデータについて農家訪問等により調査</li> <li>○農家数、耕地面積、生産量等について、調査票の郵送等により調査</li> </ul> （統計調査課各農林水産センター）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○疑義情報等による調査、立入検査</li> <li>○違反事業者への行政指導、是正状況の確認</li> <li>○水産流通適正化法に基づく巡回調査</li> <li>○消費者庁等の関係機関との連絡調整</li> </ul> （消費・安全課各農林水産センター）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漁業監督指導官が、沖縄周辺海域において漁業取締船・航空機により違法操業を取締り</li> <li>○取締り結果のとりまとめ、水産庁への報告</li> <li>○海上保安庁等の関係機関との連絡・調整</li> </ul> （林務水産課）
国と県の役割の違い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法令等に基づき全国各地で実施すべき事業・制度は国が担当（可能なものから県に移管）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業水利施設等は国が、中小規模なものは県・市町村等が実施（農地・農業水利施設整備の場合）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国の施策の企画立案等に必要な統計は全国統一的手法で国が整備（県等は現場でのデータ取得に協力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国チェーン等の広域事業者は国が、県域事業者は県が担当（食品表示監視の場合）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○領海、排他的経済水域の外国漁船、日本漁船は国が、地先海域は県が取締りを担当</li> </ul>



# 農林水産部の取組

○ 当部は、沖縄県における農林水産省の地方支分部局の機能等を担う機関として、

- ①食料・農業・農村に関する施策の普及・地域の実態の把握
- ②農業・林業・水産業・食品産業の振興
- ③農業経営の改善
- ④農村・漁村・中山間地域の活性化
- ⑤農業農村整備事業の実施
- ⑥食品表示の監視・指導と消費者行政
- ⑦農林水産統計の作成



など、地域の実情に合った各般の施策を実施しています。

○ また、社会資本の整備や産業振興などの国による沖縄振興施策を一元的に実施する内閣府沖縄総合事務局の一員として、局内他部と連携し、市町村による地域振興施策や、観光等の課題に横断的に取り組んでいます。

## 沖縄総合事務局農林水産部における主要な取組

### <生産基盤の整備>

- 地下ダム等のかんがい施設の直轄整備を実施
- 農地集積・集約化、農業の高付加価値化に取り組む地区の農地整備等への支援を実施
- 草地造成・草地改良整備等の飼料生産基盤の整備と農業用施設等の一体的な整備による畜産主産地の形成に向けた取組への支援を実施



地下ダム止水壁の施工



生産施設の整備

### <さとうきびの生産振興>

- ハーベスター等の導入支援など、各種事業による増産支援を実施
- 製糖工場における人材確保・育成や黒糖の販売力強化、季節工等の宿舍の整備等への支援を実施



大型ハーベスターによる  
さとうきびの収穫

### <水産業の成長産業化>

- 安心・安全な水産物の安定供給を実現するための漁港・漁場整備への支援を実施
- 漁業秩序維持のため、違法操業外国漁船の取締りを実施



台湾漁船（前）を監視する  
漁業取締船（奥）



# 農林水産部が行う支援・整備等の取組事例



生産施設（ハウス）の整備



ハーベスター（さとうきび）の整備



草地整備



地下ダム止水壁の施工



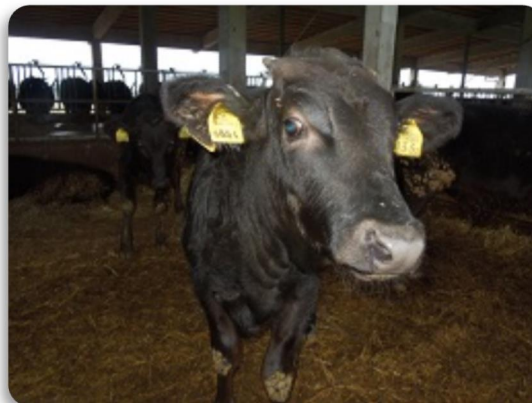
防災林の造成（木製防災工）



南大東漁港（北大東地区）の整備



統計調査



牛トレーサビリティ制度



違法操業外国漁船の取締り



# 農林水産部が関与する沖縄県農林水産業の様々な取組

## 輸出促進

### (株)八重山食肉センター（石垣市）

和牛肉の輸出拡大を推進するため、新たな輸出先の衛生管理に合致する施設整備を実施。

高単価の価格帯を期待できる牛肉の品質の確保、継続した輸出への取組に向け、輸出支援機関とも連携し、活動を推進。



八重山食肉センター



石垣牛のタイ向け  
パンフレット



タイでの商談の様子

## スマート農業

### 南大東さとうきびスマート産地コンソーシアム

南大東村において、さとうきび栽培における植付、収穫作業の自動操舵や遠隔灌水システムなどスマート技術を活用した機械化体系の確立、ビッグデータ・AI解析の活用など、スマート産地モデルの実証を実施。



微気象観測ポスト



薬剤散布ドローン



自動操舵システム

## みどりの食料システム戦略

### EF Polymer株式会社（恩納村）

同社が開発した超吸水性ポリマーは、農作物の残渣を原料とする100%自然由来の生分解性資材で、農地に散布することで土壌の保水力・保肥力を向上させ、農作物の収量の増加や農家の灌水・肥料コスト低減に貢献。

ポリマーの効果



超吸水性EFポリマー製品



## 6次産業化

### 農業生産法人有限会社伊盛牧場（石垣市）

廃用牛の精肉としての利用や、地元農家と連携し、規格外果樹を活用したジェラートやジャム製造などの6次産業化により、豊富な地域資源を最大限有効活用する取組を実施。



6次産業化によるジェラートやハンバーガー



石垣の景観を活かしたジェラート店



# 農林水産部が関与する沖縄県農林水産業の様々な取組

## 農泊

### 糸満市観光まちづくり協議会

行政、市民、民間事業者、関係団体が連携し、他の地域とは異なる特色を出した「糸満ブランド農泊」を推進し、農と食の多様な体験プログラムを構築



琉球料理体験



文化交流プログラム



サマースクール

## ブランド価値の向上

### 琉球泡盛テロワールプロジェクト

泡盛原料用米（長粒種米）を県内で生産して泡盛のブランド価値を高め、その魅力を最大限PRするため、国、県、JA、酒造組合などによる「琉球泡盛テロワールプロジェクト」を実施。泡盛原料用米を県内で生産することで、沖縄の水田農業の活性化を期待。



伊平屋島での長粒種米（北陸193号）栽培状況



令和3年産長粒種米を使用して製造されたテロワール泡盛

## 農福連携

### 社会福祉法人みやこ福祉会（宮古島市）

水耕栽培による葉物野菜の通年栽培を通し、離島における野菜の安定生産体制の確立に加え、障害者の安定雇用を実現。



収穫作業の様子



メロンランドのみなさん



メロン栽培状況

## 環境保全型農業・GI

### JAおきなわ具志頭支店野菜生産部会ピーマン専門部（八重瀬町）

JAおきなわ具志頭支店野菜生産部会ピーマン専門部では、化学肥料・化学農薬の使用量低減などの環境に配慮した農業生産を実施。また、令和6年1月にはGI産品に登録。



ほ場の様子



ぐしちゃんピーマン





# 農林水産部の業務風景



補助事業等現場視察



施策等説明会



情報収集



出前授業



県や市町村との意見交換・相談対応



実演会等の開催



打合せ

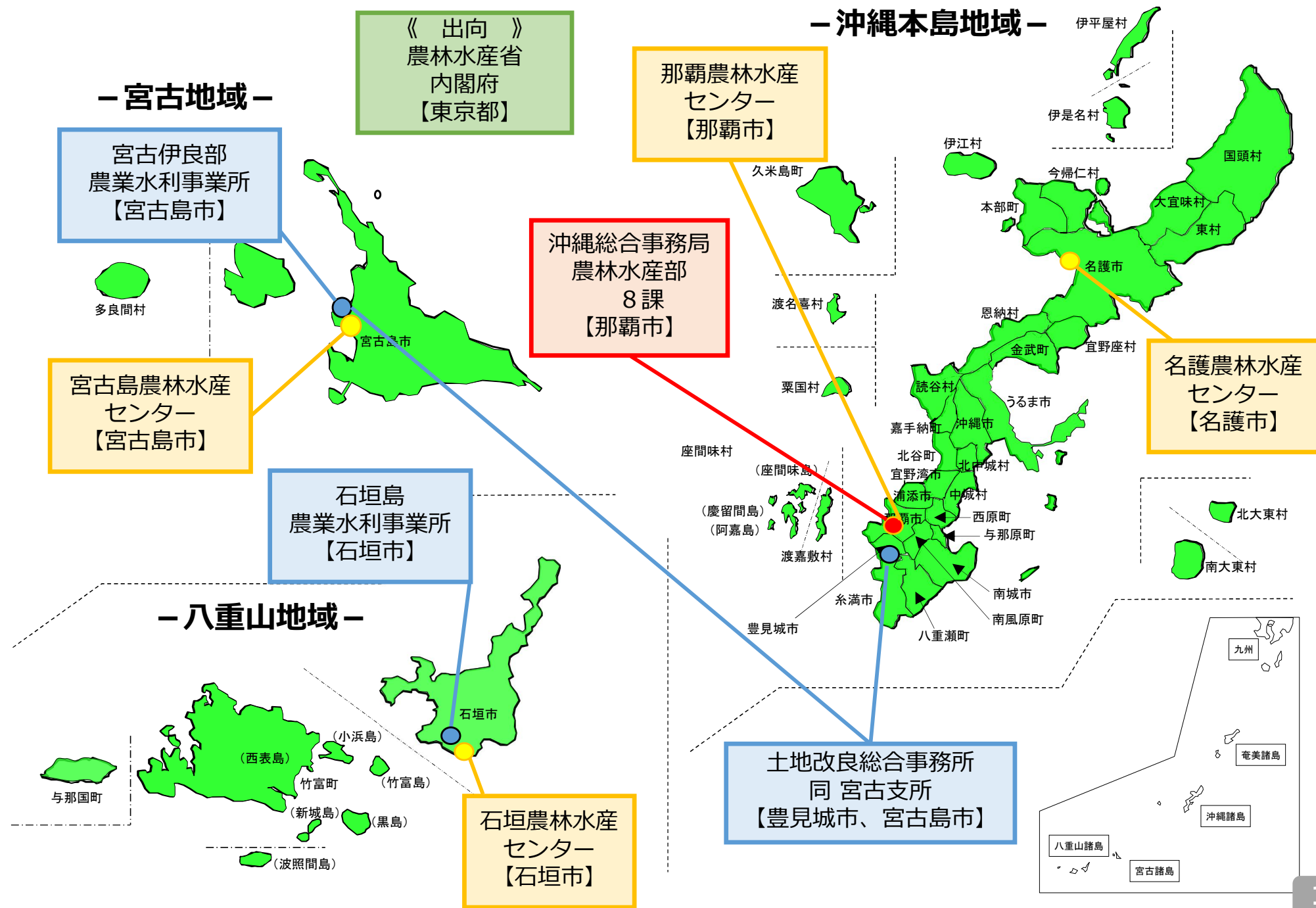


漁業取締り



広報活動（SNSでの情報発信）

# 農林水産部に配属された場合の勤務地





# 採用後のキャリアパス

## 農林水産部で採用可能な試験区分（大卒程度の場合）

高卒程度の高卒者試験、  
社会人試験（係員級）  
でも採用可能です。

●国家公務員採用一般職試験（大卒程度）のすべての試験区分を対象に採用予定です。

- ①行政沖縄区分      ②教養沖縄区分（2025年度新設）
- ③技術区分（農学、農業農村工学、デジタル・電気・電子、林学、機械、土木、建築、物理、化学）

## 近年採用者のキャリアパスの例

係員

- 概ね2年サイクルで異動
- 沖縄総合事務局本局及び農業の現場に近い離島官署に勤務
- 農林水産省又は内閣府（東京都内）へ出向

勤務地について、  
基本的には県内異動ですが、  
農林水産省や内閣府等  
県外へ出向すること  
もあります。

課長補佐級

※行政区分で採用された職員も総務系職種（庶務・経理）のみに勤務するわけではなく、農学等技術区分採用と同様に様々なポストを経験していただきます。

（大卒程度）

係員

係長（8年目以降）

課長補佐級（19年目以降）

管理職

# 採用後のキャリアパス

point !

採用区分による業務の違いはありません！

- 当部では、事務官（行政区分採用者）・技官（技術系区分採用者）の区別なく農林水産行政に関する業務を行っていただきます  
（農業農村工学採用を除く）。



農林水産分野に詳しくなくても大丈夫…？

行政事務は、農林水産省等の施策の周知や補助金の交付事務、食品に関する事業者等への指導などがメインです。

これらの業務を遂行にするに当たって、行政・教養区分の試験を合格された皆様の教養や事務処理能力を必要としております！



- もちろん、文系・理系、出身学部、専門知識の有無は問いません。  
就職後も学び続ける姿勢を持っていれば、自ずと農林水産業についての知識も身についていきます。

## 階層別研修

- ## スキル向上・実務研修

A group of students in a classroom setting, likely during a lesson or discussion. The students are seated at long tables, facing each other, and appear to be engaged in a group activity or discussion. The room has large windows with green blinds, and the students are dressed in casual attire.

## 農林水産部独自の取組①

IV 活かすDBでできること ～筆ポリゴンを利用した農地情報の見える化～

◆筆ポリゴンを活用し、農地と後継者の状況を詳細に把握  
 農林省の5年以内の農業を引き継ぐ後継者を確保している農家経営者数で色分けした地図に筆ポリゴンデータを重ねることにより、国・県・市への農地集約や政策提示に活用する。

18



# 人材育成

## 農林水産部独自の取組②

・職務遂行に必要な基礎的知識の習得や、沖縄の農林水産業の現状や課題、特徴等への理解を深めることを目的として、**若手職員を対象とした勉強会（現地研修・座学・グループワーク等）**を実施。

・令和6年度には、仕事に対する満足度・やりがい向上・人材育成につなげるため、参加者自らの発意で**テーマ設定から企画・立案、実践、総括まで自主的に活動できる機会として「チャレンジチーム」を設置**、若手職員を中心に取組を実施。

※今後も職員のスキルアップのため取組を実施予定です！



現地研修



グループワーク

## 令和6年度農林水産部チャレンジチームの取組事例



「SNSの効果的な発信」をテーマとした取組における県産食材に関する動画



今後有望と見込まれる農産物の生産拡大可能性検証の取組



「土づくり」を通じた環境にやさしい農業の普及・拡大の取組

# 先輩職員にインタビュー！仕事の魅力とは？

2019(令和元)年度採用

採用区分：林学

林務水産課 林政係

高良 美沙希

2019.4 採用／統計調査課

2020.4 石垣農林水産センター

2022.4 農林水産省（出向）

2024.4 現職



## ▶ 採用区分と現在の業務内容は？

私は林学区分で採用され、現在は林務水産課で林政業務を行っています。主に治山事業を担当しておりますが、林野庁や沖縄県庁と連携しながら、円滑な事業の執行に向けて調整を行っています。

大学では森林政策学を専攻しており、治山工事や土木に関する専門知識を持っているわけではありませんが、分からないことは上司に教えていただき、日々勉強しながら業務に励んでいます。

## ▶ 職場の雰囲気は？

農林水産部内はとても雰囲気が良く、所掌業務に関わらず若手職員をサポートしてくださるので、毎日楽しく仕事をする事ができています。

## ▶ 仕事の魅力は？

林学区分の採用ですが、林業だけでなく、農業や漁業に関する業務を行うこともでき、幅広く沖縄の農林水産業に携われるところが当部で働く魅力だと感じています。

2021(令和3)年度採用

採用区分：農学

農政課 情報管理専門職

登川 隼斗

2021.4 採用／経営課

2022.4 名護農林水産センター

2024.4 農政課

(2025.4 農林水産省へ出向)



## ▶ 採用区分と現在の業務内容は？

私は農学区分で採用され、現在は農政課で勤務しています。農政課は、農林水産部の所掌事務に関する総合調整を行っていますが、私は主に情報システム関係の管理や調整等（職員が職場で使用しているPCの管理やHP掲載等）の業務を行っています。

## ▶ 職場の雰囲気は？

元々情報システムについて詳しくはなく、初めて知ることや学ぶことも多いですが、職場内の雰囲気も良く、先輩や上司、周りの職員にも相談しやすいので楽しく業務を行えています。

## ▶ 仕事の魅力は？

現職の業務は、職場内の職員とのやりとりがメインです。農水部職員は200名程いますので、システム関係の問合せは常にあり忙しい時期もありますが、職員から直接感謝の言葉をいただく機会も多く、そこがこの仕事の1番の魅力だと思います。



# 行政区分採用の先輩職員からのメッセージ

2023(令和5)年度採用

採用区分：行政沖縄

石垣農林水産センター 一般職員

佐久間 沙愛

2023.4 採用／消費・安全課

2024.4 現職



## ▶ 学生時代の専攻と採用後の業務内容について

大学では法学部に所属しており、政策学を専攻していました。採用後2年目に石垣島の事務所へ異動となり、現在は石垣農林水産センターの庶務・経理業務を担当しています。また、農作物の生産量を調査する、生産統計業務も担当しています。

## ▶ 仕事を通してのやりがい

現在担当している農林水産統計は、政策の企画・立案につながる重要なデータとなるため、責任も伴いますが、同時にやりがいを感じています。また、離島での業務は、農家さんにお会いする機会も多く、現場の様子や生の声を聞くことができ、とても貴重な経験となっています。

## ▶ 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

業務では、農業の専門用語が難しかったりと、苦戦する場面もありますが、上司や先輩方が優しくサポートしてくださるので、日々楽しく業務に取り組んでいます。

農林水産部の仕事内容は、なかなかイメージができませんが、皆さんにとって身近な「食」を支えるやりがいのあるお仕事です。少しでも興味を持った方は、ぜひ一度、業務説明会にご参加ください(^^)

2019(平成31)年度採用

採用区分：行政沖縄

生産振興課 環境事業調整係

兼島 直哉

2019.4 採用／経営課

2021.4 石垣農林水産センター

2022.4 石垣島農業水利事業所

2023.4 生産振興課

(2025.4 農林水産省へ出向)



## ▶ 学生時代の専攻と採用後の業務内容について

学生時代は、産業経営学科でサービスマーケティングを専攻しておりました。

採用後は、農地の適正利用を確保するための規制業務や、ロボット・AI・IoT等の情報通信技術を活用した「スマート農業」を推進する業務、「有機農業（オーガニック）」を推進する業務などを担当しています。

## ▶ 仕事を通して成長したこと・仕事のやりがい

仕事の相手方は、農家さんから行政、機械メーカー、スタートアップなど多岐にわたります。役職を問わず様々な方と関わることで、多角的な視点で考える力や多様な知識を習得でき、継続して成長できる点にやりがいを感じています。

## ▶ 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

農業分野の知識だけでなく、法律や経営的知識など多様な知見を持って、国や地域の課題に向き合って支援をしていくお仕事です。文系であっても活躍できる職場になっていますので、是非、説明会にご参加ください。

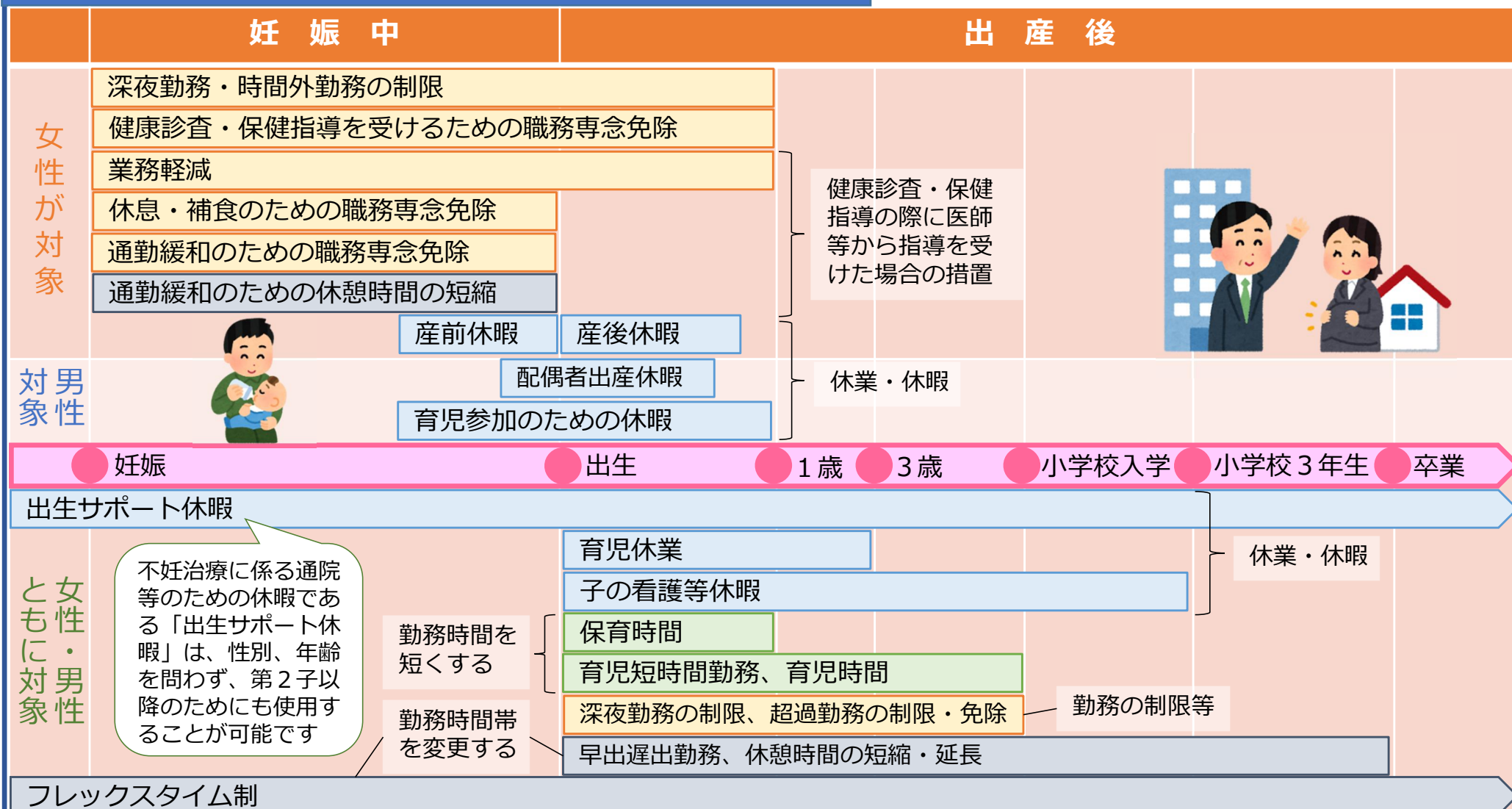


# ワークライフバランス

国家公務員は家庭と仕事の両立支援制度が充実しており、沖縄総合事務局においても、すべての職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

令和7年4月に、育児や介護のための両立支援制度が拡充されました。

## 妊娠・出産・育児に関する両立支援制度等



# ワークライフバランス

家族を介護する職員が利用できる両立支援制度を紹介します。両立支援制度を取得できる職員は、配偶者、父母等（※）で負傷、疾病又は老齢により2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者（要介護者）の介護を行う職員。短期介護休暇については、要介護者の「介護」を行う職員のほか、「その他の必要な世話（手続の代行等）」のみを行う職員も対象です。

（※）対象となる親族の範囲

【同居不要】配偶者、父母、子、配偶者の父母、祖父母、孫、兄弟姉妹

【同居必要】父母の配偶者、配偶者の父母の配偶者、子の配偶者、配偶者の子

## 介護との両立支援制度

### フルタイム勤務のまま勤務時間を変更したい

フレックスタイム制	早出遅出勤務	休憩時間の短縮	休憩時間の延長
単位時間（1～4週間）における全体の勤務時間数を変えずに、1日の勤務時間数や勤務時間帯を柔軟に設定。勤務時間を割り振らない日を1日追加することも可能。	1日の勤務時間の長さを変えずに、始業・就業時刻の繰上げ／繰下げ。 （あらかじめ定められたパターンの中から選択）	休憩時間を短縮し早く退庁することができる。	在宅勤務の前後の休憩時間を介護に必要な範囲内で延長することができる。



### 休暇を取って介護を行いたい

介護休暇	介護時間	短期介護休暇
介護を必要とする一親族の継続する状態ごとに、通算して6月の期間内（3回まで分割可）において必要と認められる期間、勤務しないことができる。	介護を必要とする一親族の継続する状態ごとに、連続する3年の期間内において1日につき2時間以内で勤務しないことができる。	要介護者の介護及び要介護者の必要な世話のため、年間5日まで勤務しないことができる。 （要介護者が2人以上の場合は10日）

### 超過勤務や深夜勤務を避けたい

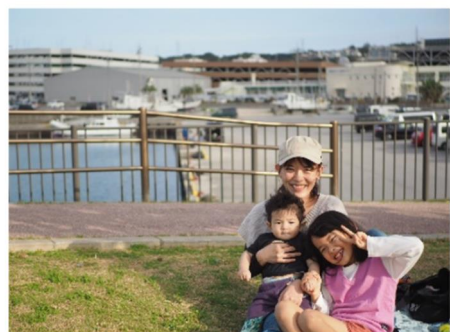
超過勤務の免除	超過勤務の制限	深夜勤務の制限
超過勤務をしないことができる。	1月につき24時間、1年につき150時間を超える超過勤務をしないことができる。	深夜勤務（午後10時から翌日午前5時まで）をしないことができる。

# 仕事と家庭の両立体験談

農政課 農政推進専門職

飛矢 舞

2016.12 育児休業(1回目)  
2017.10 復職  
2023.6 育児休業(2回目)  
2024.4 復職/現職



## ▶ 活用した主な両立支援制度について

二度の妊娠・出産に際し、産前・産後休暇のほか、育児休業（各約10ヶ月間）を取得しました。復職後は、早出出勤や休憩時間短縮（60分を30分に短縮）の制度を活用しています。

## ▶ 仕事と家庭の両立について

現在、小学生と保育園児の子2人の育児中で両親共働きですが、各種両立支援制度の活用によりフルタイム勤務を継続出来ています。保育園へのお迎え等のために残業を減らせるよう、勤務時間内での効率的な業務を心がけています。

年次休暇等も取得しやすい環境なので、平日の学校行事への出席や、子どもの急な体調不良等にも対応することができています。

## ▶ 沖縄総合事務局を目指す方へのメッセージ

働きながらの育児は大変なことも多いと思いますが、子どもたちが暮らす未来の沖縄の食に係る業務に携わることができる、やりがいのある職場です！

林務水産課 企画指導官

安仁屋 真之

2023.7 育児休業  
2024.6 復職/現職



## ▶ 活用した主な両立支援制度について

第一子が生まれてから、育児休業を約1年間取得しました。復職後は、早出出勤し、終業時刻を繰り上げるフレックスタイム制の制度を活用しています。

## ▶ 仕事と家庭の両立について

極力残業をしないよう計画的・効率的に定時内で業務を処理できるよう努め、フレックスタイム制を活用し、終業時刻を繰り上げることによって、子供と過ごす時間を確保し、充実した親子のコミュニケーションが取れています。

## ▶ 沖縄総合事務局を目指す方へのメッセージ

沖縄総合事務局農林水産部は沖縄の「食」と「環境」を継承していくために、農業、林業、水産業の基盤整備をはじめ、農林水産業の各種施策の事業実施に携われるので、いろんな経験ができます。



# 国家公務員一般職（大卒程度）の勤務条件

## 給与・手当

### ➤ 初任給の例

行政職員（行政（一）1級25号俸の場合）：220,000円

👉 令和6年度、民間給与の状況が反映され、若年層に特に重点を置きつつ、全ての職員を対象に全俸給表が引上げ改定されました！（大卒一般職の初任級で+23,800円）

### ➤ 諸手当の例

国家公務員の給与は、俸給（基本給）とそれを補完する諸手当から構成され、諸手当には次のようなものがあります。

【扶養手当】扶養親族のある者に支給。子月額11,500円等

【住居手当】借家（賃貸のアパート等）に住んでいる者等に、月額最高28,000円

【通勤手当】交通機関を利用している者等に定期券相当額等

【単身赴任手当】

採用・異動に伴ってやむを得ない事情により配偶者と別居した者等に月額最高100,000円

【期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）】

1年間に俸給等の約4.60月分

【広域異動手当】

広域的な異動等を行った者に、官署間の距離に応じ異動等の日から3年間支給

【超過勤務手当】

正規の勤務時間を超えて勤務した者に、勤務時間数に応じて支給

※初任給及び諸手当の額は、令和7年4月1日時点の給与の一例です。

## 勤務時間・その他

### ➤ 勤務時間・休暇

【勤務時間】原則1日7時間45分、土日祝等の休日は休み

【休暇】年次休暇（年20日（4月採用の1年目は15日）。20日を限度に翌年に繰り越し。）  
そのほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）及び介護休暇等



### ➤ 福利厚生 の例

【合同宿舎への入居】

離島等に勤務する職員や、頻度高く転居を伴う転勤等をしなくてはならない職員等、職務遂行上必要な場合、合同宿舎に入居することが可能です（那覇地区、名護地区、宮古島地区、石垣地区）。

### ➤ 内閣共済組合

共済組合制度は、社会保障制度の一環として設けられている制度で、組合員による掛金及び事業主（国）の負担金を財源としています。

組合員とその家族の病気、負傷、出産等の場合の医療給付（短期給付）や、退職、障害あるいは組合員死亡後の遺族等に対する生活の安定のための年金給付（長期給付）、そのほか、健康診査や貯金・保険、住宅所得資金等の貸付け等（福祉事業）の制度が利用できます。



# 気になる疑問を深掘りします！

Q. 異動や転勤は多い？

基本的には2年を目安に異なる部署に異動します。定員の多い那覇市の本局で勤務する機会が多いです。

若手～中堅の頃に、仕事のフィールドが生産現場に最も近い離島や本島北部の出先官署で勤務するパターンも多く、その経験がのちのち役に立ってくると思います。

Q. 上司の対応や職場内の雰囲気は？

各職員、各々担当する業務を責任をもって遂行する必要がありますが、各業務に指揮系統ラインがしっかりあるため、若手でも上司に相談しながら安心して働くことができる風通しの良い職場です。職場の雰囲気は、職員が県内各地で購入してきた旬のフルーツが休憩時間に振る舞われることもある等、楽しみながら業務を行っています。

Q. 業務外のコミュニケーションは？

共通の趣味をもつ職員同士、スポーツや釣り、音楽等の活動を楽しむなど仲の良い職場です。飲み会で職員の意外な一面を発見したり、お昼時間も何気ない会話で盛り上がったりします！

Q. 農業に詳しくなくても大丈夫…？

実は、職員の約4割が行政区分での採用なんです。採用後、定期的な異動の度に担当業務について学び続けることで自ずと知識が身についていくのでご安心ください。

生産者の方を訪問する際に、取組の工夫や苦労している点など伺うことで、他地域に広く展開すべき優良な取組や現場の実情を把握するなど、現場で学ぶことも非常に多いです。

Q. 残業は多い？ 家庭との両立は可能？

自分の時間もしっかり持つことができます！定時退庁日の設定や、業務効率化・ワークライフバランス推進のための目標を人事評価に設ける等、超過勤務縮減や柔軟な働き方の推進に組織として取り組んでいます。フレックスタイム制や時差出勤等を活用する職員も多くいます。

Q. 農林水産部ならではの魅力は？

国の政策を進める国家機関でありながら、沖縄県1県のみを所管するため現場との距離がとても近く、県や市町村とも連携して沖縄の食と環境を支える農林水産業発展のために力を注ぐことができることが当部ならではの魅力の一つです。

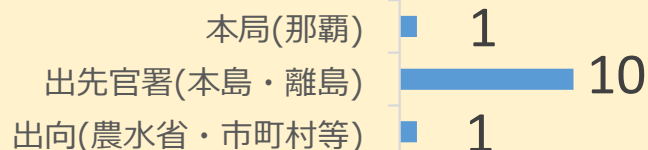
# 採用情報に関するご案内

## 近年の採用実績

### 令和5年度

新規採用10名（男6／女4）  
 選考採用2名（男1／女1）  
 （一般職係長級（技術系））

（参考）採用3年目の配属先



### 令和6年度

新規採用5名（男3／女2）  
 選考採用4名（男2／女2）  
 （一般職係長級（技術系））

（参考）採用2年目の配属先



### 令和7年度

新規採用4名（男2／女2）  
 選考採用3名（男3／女0）  
 （一般職係長級（技術系））

（参考）採用1年目の配属先



## （参考）2025年度一般職試験(大卒程度) 採用スケジュール

2月20日～  
3月24日

試験インターネット  
申込期間

6月1日

第1次試験

6月25日

第1次試験合格発表

6月下旬～  
7月中旬予定

局全体業務説明会・  
農林水産部業務説明会  
【沖縄総合事務局】

7月9日～  
7月25日

第2次試験  
（人物試験等）

8月上旬  
予定

官庁訪問  
【沖縄総合事務局】

8月12日

最終合格発表  
（内々定）



# 採用情報に関するご案内

沖縄総合事務局では、2025年度国家公務員一般職試験（大卒程度）の合格者から、職員の新規採用を行う予定です。

最終合格者であれば、出身大学（学部）等を問わず、面接による人物重視の選考を行っています。

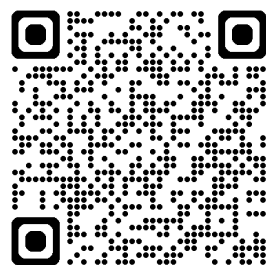
県民の生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承し、沖縄の農林水産業の振興、農山漁村の活性化に寄与したいという意欲にあふれた方のご応募をお待ちしております！



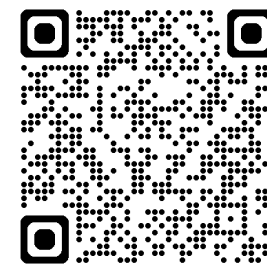
農林水産部では、部の業務に関する説明会や職場訪問会を不定期に開催する予定です。

開催案内については、沖縄総合事務局HP及び農林水産部Xを通じて告知します。

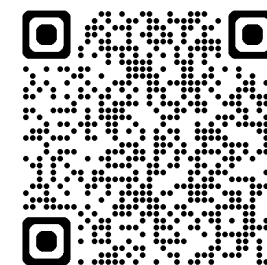
是非お気に入り登録・フォローをお願いします！



局HP：採用情報一覧



局HP：部の概要



局農林水産部X

## ▶ お問合せ先

沖縄総合事務局 農林水産部 農政課  
☎ (098)866-1627（直通）